

放課後等デイサービス 夢門塾白楽 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾白楽

公表日

2026年 1月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・家具の配置替えなどでより広いスペースが確保できるよう試行錯誤している ・遊んでいる際、他の人にぶつかったりしないように、内容によっては机を下げたりしてスペースを広く取っている	・今後も、お子様が快適に過ごせるよう工夫を重ねていく
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・利用定員に対して適切な人数の職員を適宜配置している	・引き続き配置数を遵守し、プラスアルファで配置できるようにしていく
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・視覚的刺激になるような掲示物を少なくしている ・必要などころにはイラスト入りのポスターを貼り、来室時の準備がしやすいよう動線を工夫した	・よりよい環境にするため、お子様のご様子に合わせて随時変更を行っていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・加湿機能付き空気清浄機を2台、加湿器を1台使用し、エアコンや換気扇のフィルターを定期的に掃除している	・トイレ使用後の状態など通常期待されるべき衛生状態が維持できていないこともあるため、スタッフ全体で意識をして改善へと向けていく
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	5	・相談室あり ・相談室をクールダウンスペースとして使えるように用意している	・引き続き、限られた環境の中でもお子様が安心・安全に過ごせるよう、工夫を重ねていく
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	・月に1回、ミーティングを開催している ・夕礼にて今日の振り返りを実施	・外形的には参画しつつも内容を理解できない職員がいるため業務改善につながっていくよう育成を行う
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・月に1回のミーティングにて共有し、改善につなげている	・引き続き、定期的に保護者様評価を振り返って業務改善につなげていく
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・毎日全員で昼礼を行っている ・毎日夕礼で意見を交換している	・業務改善がなぜ必要なのかをしっかりと伝え、スタッフが理解をした上で遂行していくことができるよう工夫をしていく
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	・第三者による外部評価ではないが、定期的な運営指導でチェックを受けている	・第三者による外部評価は行っていないが、第三者・訪問者等にいただいたご指摘やアドバイスをされた際には改善に努めている
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・会社より、全体研修や新人研修が開催されている	・今後は外部研修も積極的に受講していく
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・作成し、HPで公表していく	・引き続き、よりよい支援プログラムを作成し、周知していく
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・面談や送迎時の聞き取りなどで適切な支援計画が作成できるよう努めている	・引き続き、よりよい支援計画が作成できるよう情報収集やアセスメントを行っていく
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	・ミーティング等を定期的に行い、改善策を全員で共有し、支援につなげている	・共通理解がまだ薄い職員がいるため、しっかり理解につながるよう共有を引き続き徹底して行っていく
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・作成した支援計画は全員で回覧している	・引き続き、支援計画を元にした支援ができるよう努めていく
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用するなどにより確認しているか。	8	0	・アセスメントシート、面談シートを使った情報収集と、児発管以外のスタッフからの情報共有もを行い、適応行動の状況を確認している	・引き続き、様々な方法でアセスメント、行動観察を行っていく
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・ガイドラインに沿った適切な支援計画を設定している	・引き続き、お子様ひとりひとりにあった支援計画になっているか確認していく
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	・児発管をメインに、様々な職員から広く意見を募集し、プログラムを決定している	・勤務形態に関わらず全職員が関わり立案できる仕組みを検討し、業務の共有化と支援の質向上に努めていく
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・お父さん全員が様々な体験をできるよう、曜日や頻度を工夫している	・引き続き、活動プログラムのブラッシュアップを行っていく
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・お父さんの状況を見ながら、支援計画に沿った支援を行っている	・引き続き、お父さんの状況の変化に合わせて個別活動、集団活動を組み合わせしていく
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・昼礼を行い、全員で活動内容の確認やペアの設定を行っている	・引き続き、チームで連携した支援を行っていく
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・終業15分前から今日の反省を1人1つ発表している	・ミーティングの実施時間や進行方法の工夫を行い、効率的かつ活発な意見交換ができるよう努めていく
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・サービス提供記録をつけている	・定期的に記録の取り方に関する研修を実施し、職員全体で質の高い記録作成ができるよう取り組んでいく
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・適切な見直しを行っている	・引き続き、適切な支援計画になるよう確認していく
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	・ガイドラインに沿って適切に行っている	・定期的に振り返りを行い、職員全員で意識していく
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・答えを誘導しないよう聞き方を工夫し、自分で考えて決定し、その結果も振り返ることができる声をかけている ・調理の時はトッピングを選んでもらう等行っている	・引き続き、自己決定力を育む支援を行っていく

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・児童発達支援管理責任者が参加している	・いずれも児童発達支援管理責任者以外も参加できるよう、全員がお子様の状況をよく理解できるよう努めていく	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	・協力医療機関を設定し、備えている	・必要な場面は少ないものの、適切に対応できるよう体制を整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・お迎え時に必要があれば、学校と情報交換を行っている		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	・児童発達支援事業所での個別支援計画を共有していただき、支援に活かしている		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	・情報提供する体制を整えている	・対象児童は現在いませんが、問い合わせがあった場合には適切に回答できる体制を整えていく	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	・必要な時には助言を受けられるようにしている		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	・地域のバザーや、合同の餅つき大会で交流している		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	・放課後等デイサービス連絡会やその他集まりに参加し、全職員に情報共有している		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・お送りの際に伝えている	・引き続き、保護者様との情報交換を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・地域の講演情報等をコモン一斉送信でご家庭に共有している	・家族支援プログラムに力を入れていく	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約の際に行っている	・引き続き、丁寧な説明を行っていく
		37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・日々の情報共有の場や面談で意向を確認している	・引き続き、お子様やご家族の意向を確認する機会を設けていく
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	・支援計画の内容については事前にお伺いを立てた上で作成し、同意をいただいている	・今後も丁寧に説明を行っていく	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・定期的な面談の他、希望があればいつでも面談を実施し、必要な助言や支援を行っている	・どの職員でも適切に対応できるよう、引き続き自己研鑽を行っていく	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・保護者会、夏祭りを開催した	・保護者同士の交流は不要と考えるご家庭にも配慮しながら、引き続き機会を提供していく	
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・体制を整え、適切に対応している	・ゆめだよりやコモン一斉送信を活用して、周知に努めている	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・毎月のゆめだより発行、毎週のブログ更新にて、情報発信を行っている	・より詳しく為になる情報の発信に努めている	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	・個人情報の取り扱いに留意している	・利用児童の個人情報の枠組みの理解が薄い職員もいるため、より一層取り扱いについては育成を行っていく	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・伝え方や対応方法について全職員で確認している	・お子様やご家庭の様子によって、引き続き工夫して伝えていく	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	・地域のフリーマーケットに参加し、地域住民が広く来室された		
非常時等の対応		46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・各種マニュアルを策定し、ゆめだより等で周知し、訓練を実施している	・十分な周知ができるよう、定期的に情報を発信していく
		47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・BCPを策定し、定期的に避難訓練を行っていく	・定期的に振り返りや訓練を行い、緊急時に対応できるようにしていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・間違いのないように、しっかり職員間で共有している	・定期的に研修を行い、緊急時に対応できるようにしていく	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・ご家庭から医師の指示を共有していただき、対応についても研修を行っている	・定期的に研修を行い、緊急時に対応できるようにしていく	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・安全計画を作成し、安全な環境で支援ができるようにしている	・定期的に振り返りや訓練を行い、緊急時に対応できるようにしていく	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・安全計画に基づく取組内容を周知している	・安心していただけるよう、情報をこまめに発信していく	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・ヒヤリハット、事故報告書は全員で回覧し、話し合いで再発防止策を決定している	・再発防止策は講じておりますが、うっかりしてしまう職員もいるため、事前の再共有や都度の声かけを繰り返している、全職員が確実に対応できるよう努めていく	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・毎年必ず自社の研修に参加し、適切な対応をしている	・研修会等の内容が身に付かず、配慮が必要な職員もいるため、知識をしっかりとつけていけるよう育成を行っていく	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	・自社の研修にむかひ、身体拘束委員会での内容も全職員に共有した上、支援計画にも記載している	・引き続き研修を受け、全員で共通認識を持つように努めていく		
保護者様評価、自己評価についてまとめ							
<ul style="list-style-type: none"> ・お子様と保護者様のニーズに合わせた支援計画書について評価をいただきました。 ・緊急時対応などの情報周知が十分でない点もあり、今後はより丁寧な情報発信に努めてまいります。 ・引き続き、『人生を生き抜く力を育てる』ことを目標に、職員一人ひとりの努力を重ね、より良い支援を提供してまいります。 							